



検診に行った？そのひと言が、

命を守ることに繋がります



乳がんや子宮頸がんは、早期発見・早期治療で治る可能性が高くなります。
大切な人の未来のために、そしてあなた自身のために、今できることから始めませんか。

かかりやすい年齢を知っていますか？

乳がん

40代～60代に多い

30代後半から増加し、**40歳以上の女性では
かかる人が多い**です。

こんな方は特に注意を

- ・乳がんの家族歴がある
- ・初経が早い、閉経が遅い
- ・出産経験がない、または初産の年齢が高い
- ・飲酒、喫煙の習慣がある

乳がん検診（マンモグラフィ検査）とは



乳房を専用の装置で撮影し
しこりなどの異常を見つける
検査です。

対象：40歳以上の女性

こんな症状ありませんか？

- ・乳房のしこりやひきつれ、くぼみ
- ・乳頭の分泌物、ただれ

子宮頸がん

20代～40代に多い

20代後半から増加し、
30～40代に多くみられます。

こんな方は特に注意を

- ・性交渉の経験がある
- ・喫煙の習慣がある
- ・免疫力が低下している

子宮頸がん検診とは



子宮頸部の細胞をブラシな
どで採取し、顕微鏡で調べ
る検査です。がんになる前
の状態で見える場合があり、
定期的な検診で早期治療に
繋がります。

対象：20歳以上の女性

こんな症状ありませんか？

- ・不正出血（生理期間外の出血、性交後の出血など）
- ・おりものの異常（量が増えた、色やにおいの変化など）
- ・下腹部痛や腰痛

❗ 上記のような症状がある場合は医療機関を受診しましょう。

●●● 検診は「症状がない今」が大切です ●●●

症状がない方は**2年に1回**の検診をおすすめします。
詳しくは今月の広報折り込みチラシまたは、
ホームページをご確認ください。



まわりの人と声を
掛け合うことが、
受診のきっかけになります。

問い合わせは、中標津町保健センター 健康推進係（☎72-2733）まで。